



Jun. 2026 / No.54-09

NEWS LETTER



株式会社 計測技術研究所
パワエレ営業部

E-mail : PWsales@hq.keisoku.co.jp
https://www.keisoku.co.jp/pw/

台風が二つも近づいているようですね。台風には140の名前が用意されていて、発生時に順番につけていくんだそうですが、自然現象に名前を付ける、というのは面白い発想ですね。因みに今来ている7号は68番目の名前「メーカラー」、8号は69番目の「ヒーゴス」だそうです。耳慣れない音の言葉が多いせいか、日本では名前よりも番号が強調されているように感じますが、せっかくなので命名ルールですからもう少し積極的に使ってもよいのでは?と思いました。

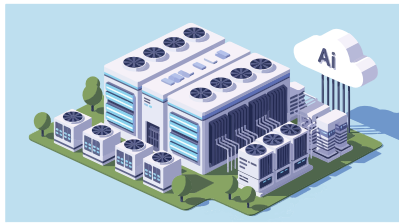
今月は、評価ソリューションをご紹介します。どうぞ最後までお付き合いください。

担当:三尾佳子

情報社会を支えるインフラの最前線

AIサーバーの大電流化・高速化に対応する評価ソリューション

近年のAIサーバーはGPU性能の向上に伴い、ラックあたり数百kW級の大電力化が進んでいます。さらにPoL電源やメモリへの給電回路では、低電圧・大電流化に加え、高速な電流変動への応答性能が重要視されています。



計測技術研究所では、大容量電子負荷、高速電子負荷、グリッドシミュレータを通じて、AIサーバーを構成する各種電源機器の評価試験をサポートしています。

▶ お問い合わせ

AIサーバーの大電流化・高速化を支える3つの評価技術

大容量電子負荷 「QL-Dシリーズ」

サーバー電源・BBU評価



AIサーバーの消費電力は急速に増加しており、ラック単位では数百kW規模の評価が求められています。QL-Dシリーズは大容量・大電流負荷試験に対応し、サーバー電源やBBU (Battery Backup Unit) の評価に最適です。

高速電子負荷 「LFシリーズ」

PoL電源・メモリ電源評価



AIサーバーで使用されるGPUやHBMメモリは、演算処理に伴い大きく変動する電流を要求します。LFシリーズは優れた高速電流応答性能により、PoL電源やメモリ電源の過渡応答特性を高精度に評価し、安定した電源設計をサポートします。

グリッドシミュレータ 「RPS-5000シリーズ」

データセンター電源設備評価



AIデータセンターの消費電力増加に伴い、受電設備やマイクログリッドとの連携が重要になっています。RPS-5000シリーズはシステム模擬や電力品質試験を実現し、次世代電力インフラの評価に貢献します。

AIサーバーを構成する電源評価をワンストップでサポート

AIサーバーの進化に伴い、電源評価に求められる要件も大きく変化しています。計測技術研究所では、電源ユニット、PoL電源、メモリ電源、データセンター向け電力インフラまで、幅広い評価ニーズに対応するソリューションをご提供しています。

本ニュースレターは、当社製品ユーザー様ならびに展示会にて当社ブースへご来場頂いたお客様を中心に配信しております。配信解除をご希望の場合は、お手数ですが[こちら](#)より手続き頂けますようお願い申し上げます。

日吉事業所

〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬4-11-1
TEL 044-223-7950 FAX 044-223-7960

大阪オフィス

〒564-0052 大阪府吹田市広芝町10-8 江坂董友ビル2階
TEL 06-6387-1039